



# いわみざわ



発行所 障友会岩見沢支部  
 岩見沢市西川町519-25  
 編集 陸士白衛隊  
 岩見沢駐屯地  
 印刷 北海道立福祉社  
 空知郡栗沢町最上350  
 TEL(0126)45-2721



## 『年頭の辞』

第十二施設群長  
 一等陸佐 淵之上 徹

新年あけましておめでとうございます。  
 岩見沢駐屯地の隊員の皆さん、ご家族並びに駐屯地協力諸団体の皆様におかれましては、素晴らしい新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は、アテネオリンピックでの日本選手の活躍に日本中が沸いた年でしたが、北海道では日本ハムファイターズの健闘、そして、なんと言っても駒大苫小牧高校の全国高等学校野球選手権大会の優勝は、多くの道民に感動と勇気を与え、夢に向かって努力することの素晴らしさを見せてくれました。駐屯地にお

いては、イラク人道復興支援業務に参加した二十六名の隊員がその任務を完遂し元気に帰国しました。このことは、駐屯地全隊員、ご家族そして協力諸団体の皆様の支えがあったからこそ成し得たものであります。本当にありがとうございます。また、十二施設群と直接支援中隊は上級部隊の訓練検閲を受閲し、現在の練度についての評価を戴くとともに、練成すべき事項等が明確となりました。

十一月九日から十一日までの間、第一〇一施設直接支援大隊が平成一六年度総合隊務視察を受察し、十一月十日北部方面後方支援隊長・中村俊範一等陸佐が来隊された。

中村一佐は、「第一〇一施設直接支援大隊は、全道に展開し方面隊の全般支援という任務を有する第三施設団を直接支援する重要な役割を担っている。したがって、その支援の成否は団の戦力発揮、ひいては方面隊の任務達成に重大な影響を及ぼす」とされ、大隊長青木二佐を核心として要望事項「被支援部隊の要求に即応した整備支援」、「明るく前向きに」のもと、隊務はおおむね順調に運営されていることを確信し、「概ね優良」であると評価された。

新年は、新たな防衛大綱の下、国際貢献や災害派遣そしてゲリコマ対処をはじめとする防衛警備等これまでにも増して、厳しい一年になることと思いますが、検閲での指摘事項を着実に改善し、如何なる任務をも遂行しうる実力を涵養して、物心両面の即応性を充実していきたいと思えます。

二〇〇五年が、隊員各位、ご家族そして協力諸団体の皆様にとりまして素晴らしい年となりますことをお祈りして、新年のご挨拶といたします。



### 直接支援大隊総合隊務視

# 平成十六年度 群訓練検閲受閲

## 第三三五施設中隊

3等陸尉 大谷 和之

「状況開始」

私が部隊に若任して2度目の検閲に参加した。任務は大きく分けて2つ「対空挺障害」「重要施設の警備行動」であった。私自身初めての検閲(中隊検閲)受閲時は、中隊に少しでも貢献するという思いとは裏腹に失敗反省点ばかりで隊員に苦勞を強いいた苦しい思いをしたので少しでも改善すべく臨んだ検閲であった。

検閲問隊員は命じた通り即座に行動し夜間、寒さの中、警備に真剣に取り組んだ。また、特に新任務へ移行時警備行動に必要な器材等を小隊陸曹を長として岩見沢駐屯地まで一時帰隊し夜間輸送した。一睡もしていないある隊員に心配して聞いた所、「小隊長、大丈夫です。」この一言がいかに私を勇気づけてくれた事は言うまでもない。

今回の検閲を通じ、日頃から感ずる事であるが、命令する側に立つにあたり、その判断に至るまでの決心の貴さとともにその責任の重さがいかに重いのか改めて痛感した。また、「段取り8分」と言われるが、例えば計画通りにいかなくても準備を確実に

やることにより新任務に対しても腹案が持てたり、冷静に対処できることを実感した。

今の私の最大の目標は、中隊長の企図のもと小隊一丸となり全員が同じ認識のもと、目標に邁進できるがごとく訓練終了時には達成感・一体感を味わえるように精励していく事です。



作業する隊員



現場で調整する大谷三尉

## 中隊検閲に参加して

第一〇一施設直支大二直支中隊

陸士長 千葉 彩加



私は、今回が二度目の訓練検閲でした。一度目は、中隊配属された最初の冬で、その時は指示されたことをこなすだけで一杯だったという思いがあります。

今回は三夜四日の期間と、十二施設群との合同で行う検閲という事で、長い期間で群と合同だから、凄く内容の濃くなる検閲

## 秋季演習場整備の最大の敵

参加して

第三三六施設中隊

2等陸尉 吉田 泰輔

今回、約10日間にわたる矢日別定期整備支援に施設小隊長として参加した。

小隊としての任務は別寒辺新設道における伐採・松の橋北側側溝整備・日の丸道暗渠整備であった。5旅団の編成完結式時の整備隊長の訓示に「敵を意識せよ！」という言葉があった。私は施設作業を実施する上で最大の敵は自然(水・土)だと考えていたが、今回の演習場整備では本当に痛感する内容となった。

なることを予想していました。

また、中隊訓練では整備所天幕構築組で作業していて、今回は警戒班ということで、少し不安もありましたが、警戒班長及び班員の方、群の警戒任務に就いていた方達が指導して下さいたお陰で一度目に比べて充実感を感じることが出来た検閲だったと思います。また、そのお陰で優秀隊員に選んでいた、たくさん出来ました。

この検閲で経験したことを、これからの訓練等に生かすことが出来るように、日々励んでいきたいと思えます。

## 工事量の増大を覚悟し分隊長

以下に意識の再統一を図り、よしこれでいこうとした矢先の十一日の夜、天幕地域に降り注ぐ雨。やばいなあと思いつつ向かった現場予想通り水浸し。約半日の作業の遅れ、十五日も雨の予報があり勝負はあと二日と分隊長に徹底したが、さらに十二日の夜も雨、二日間早朝・夕方の作業延長を実施し、分隊長・分隊員の頑張りで芝張りの段階まで作業完了させた。十五日の強風・強雨による自然との闘いにも負けず芝張り及び補備作業を実施して品質の向上を図り任務を完了した。



演習場整備中の三三六施設中隊

私は今回の演習場整備に参加するポイントに「うれつがでる」。「物が壊れる」には原因があり、原因の除去及び耐えうる工夫を上げていた。しかし、自然を目の当たりにし強さと見えないう上の中に潜む敵もたくさんいるなど強く感じた。加えて、自身自身の知識不足も痛感し今後施設科隊員として勉強勉強である。毎回のことであるが演習場整備終了後、民間の工事現場に興味が増しつつ帰隊した。この場を借りて、寒さ雨という敵しい環境の中任務を完了した分隊長・分隊長本当にお疲れさん!!

## 隊友会ボウリング大会&懇親会

平成十六年十一月十四日(日) 隊友会恒例のボウリング大会を、西友五階ボルトトーホーボールにて、隊友会四十七名と現職隊員、第十二施設群から、副群長、一科長、機械幹部、司令業務室長が参加され、盛大にかつ闘争心むき出しに、楽しくゲームを実施し、隊友の親睦と現職隊員の皆様とのコミュニケーションを図った。

優勝者は、隊友間もない池田哲夫氏、準優勝に白根謙一氏、第三位に石川征明氏がそれぞれ受賞されました。

大会終了後、場所を「とんとん亭」に移し、黒田支部長の挨拶に続き、現職副群長菅野氏の「乾杯」の御発声で全員ビール・お酒・焼き肉等、すこぶる快調に胃袋を満たし、箸が一段落すると、隊友間の旧交を温める光景があちこちで見られ、最後に現職の群一科長齋藤氏の締めのお言葉で閉会となり、夜の巷へと消えた。

毎年多数のご参加をいただいておりますが、若い隊友の皆さんのご参加が少ないようです。若い隊友の皆様のご参加を、お待ちしております。



ボウリング大会開始第一投



懇親会で黒田支部長の挨拶

## 栄誉を讃え

### 表彰受賞者紹介

一、危険業務従事者叙勲

(平成十六年十一月三日発令)

瑞宝双光賞 杉本 勝男氏

瑞宝単光賞 西園 章氏

二、平成十六年度

北海道隊友会連合会表彰

平成十六年十月二十三日(土)

二十四日(日)十勝特別温泉に

おいて、第三十六回全道研修会

が実施され、その行事の中で表

彰されました。入会後会員及び

役員として、会員の育成発展及

び体勢拡大に寄与された功績に

より、岩見沢支部細川金治氏が

受賞されております。

受賞者の皆様大変おめでとう

ございます。これからもそれぞ

れの分野で益々のご活躍、ご発

展をご祈念申し上げます。

## 体験入隊

平成十六年十月二十九日、学校の総合的な学習の時間(岩見沢再発見)のため、岩見沢市立光陵中学校の生徒十二名が駐屯地に訪れ、岩見沢駐屯地の歴史や駐屯地内の見学等熱心に活動していた。後日、「自衛隊はただ戦車や武器を使って訓練しているのではなく、国民を守り救うという任務があるということに感心した」等、感想を頂いた。



熱心に話を聞く生徒



興味津々で説明を聞く生徒

心をこめて、これからも

**AIG**

AIGエジソン生命

お気軽にご相談ください。

AIGエジソン生命保険株式会社

業務隊厚生科内

常駐社員: 田村純子(内線338)

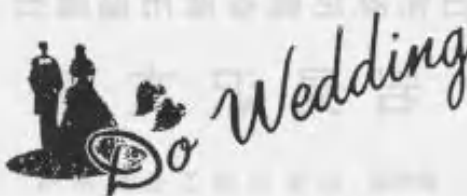
素朴で、安く、安心して飲める店です。お通し、ポリュウムあります。飲み放題・歌い放題で一人様2,000円。宴会・二次会に!50人様入れます。幹事さん...

ご利用をスタッフ一同心よりお待ちしております。

スナック **夏花**

岩見沢市3条西1丁目 長谷川町子

お二人の旅立ちを、真心のおもてなしでご祝福いたします。



IWAMIZAWA  
**HEIANKAKU**  
岩見沢市5条2丁目 TEL: (0126) 22-4811

**Gibraltar**  
ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。

ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国籍大規模の金融機関であり

世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。

ジブラルタ生命保険株式会社

札幌南支社 岩見沢支部

〒058-0024 岩見沢市4条西4丁目 グレイズ寺江ビル4F

TEL: (0126) 22-4875 FAX: (0126) 22-5734



千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉嘉男

岩見沢市東山町22番地71  
電話(0126)24-4567番

# あの人は今

## 楽しみ夢



定年を迎えて早三年が過ぎようとしています。月日の過ぎるのは本当に早いものです。

現在の私の仕事は、岩見沢市健康福祉部健康推進課国保係の嘱託職員として、平成十五年四月より勤務しています。仕事の内容は、お客様廻りです。その様な仕事の関係もあり自分自身の健康には特に気をつけています。

健康維持のために今やっていることは、ジョギングです。四月から九月までは毎朝一時間程度、十月から三月までは自宅においてマシーンを使って走っています。スピードに関係なく、長い距離を、時間を掛けてゆっくり走っています。ジョギングをするようになってから、朝挨拶をする友達が増えました。これも走るたのしみのひとつになりました。日々走っていると、一人では淋しいので足試しも兼ねて、年に四回程夫婦でマラソン大会（ハーフ）に参加しています。妻は走りませんが、大会に参加して、同じ趣味を持つ仲間が沢山でき、心の健康も皆さ

んからいただいています。妻にも、走る女性や、走る仲間の奥様方等の友達ができ、毎回大会を楽しみにしています。遠方の大会などは、一泊しながら二人の小旅行を兼ねることになり、一石二鳥の効果があります。もう一つの楽しみは、現職の後輩と大会で会えることです。近況を語り合ったり、お互いの健康を讃えたり、大会を通して楽しい時間を共有できるのもうれしいことです。



頃です。自衛隊を定年退職し、早六年が経過しようとして

雑感  
歳月の経つのは早いものだなとつくづく感じられる今日この頃です。

自衛隊OB  
市川 泰博

最後に今の一番の楽しみ(夢)は、ホノルルマラソンに出ることです。現職自衛官、OBの皆様健康には十分に注意して、充実した楽しい日々をお過ごしください。

これからも、今のペースを守りながら無理をせず、仕事や日常生活を大切にしていきたいと思えます。

時折駐屯地を訪問し、顔見知りの隊員さんが少なくなったことや、自分が元自衛官であった事まで少しずつ記憶から遠ざかって行くようであります。何かわびしいような、淋しいような複雑な心境であります。

先日(十一月十四日)隊友会のボーリング大会と引き続き懇親会があり大先輩の皆様方とお会いし、焼き肉を焼きながら一献かたむけました。自分が若かりし頃、いろいろとお世話になった対先輩の皆様と接すると、「フーツ」と肩の力が抜けて、安心感と申しますか何か急に昔の状況に戻ったような雰囲気になり、なんとも言えない至福の時間を感じました。

自衛隊OBの大先輩の皆様、いつまでもお元気で昔の勇姿を保ち続けて下さい。そのお姿を見て後輩達も頑張りたいと思います。

自衛隊OB  
大宮 勝亀

現職の時代とは違い、現在一般社会で働いている方や完全にリタイヤされた方等、今は各々違った環境で生きておられますが、当時の諸先輩のご勇姿は今なお健在で頼もしく感じました。当時の自衛隊生活だからこそ学べたもの・・・人と人との心のつながりを痛切に感じた一時でした。

大越三曹イコール自衛隊一筋の堅い人と思われる方もいらっしゃるでしょうが、実際のところろは明るくさつぱらんな性格の持ち主です。気軽に声をかけてみてはどうですか？

今年度初めの異動で坑道中隊の平均年齢は十歳とは言い過ぎかもしれませんが、まさに新しい風が吹き抜けました。今回はそのニューウェーブの核となる人、大越雄介三曹を紹介したいと思います。

大越雄介三曹は、強い信念と行動力に支えられ学習にスポーツにと文武両道を体現し、なおかつ容姿端麗のうえに元気も良く、現在中隊においてなくてはならないムードメーカー的存在です。

今後の大越三曹の限らない向上心と活躍に期待して紹介を終わります。

隊員紹介



三等陸曹 大越雄介の紹介

あなたと生きていく保険。

**朝日生命**

岩見沢営業所  
電話 (0126) 22-0207番

**保 険 王**

三井グリーンヨンド ホテル **ザンブラザ**

ご婚礼スーパーセレクトプラン

「Only one」発表!

三井グリーンヨンド 遊園地・ホワイトパーク

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内  
支部長：五十嵐 閣  
TEL：0126-22-3445

# 年男 年女



## 第十二施設群第二科長

三等陸佐 大木 英生



四十八歳  
を迎えるよ  
うになると、  
妻の愛情も  
薄れ、親と  
の死別、子  
供たちの親  
離れ。仕事の責任も重くなり、  
定年も近づき、住宅ローンの返  
済が気にかかる。髪は薄く、歯  
は抜け、眼鏡は手放せず、高血  
圧・血糖、神経痛等の持病に苦  
しむ。「なぜ、オレだけがこんな  
メに」と黄昏の人生に独りた  
ずんでいる。

四十八歳を迎えるようになって  
も、金が得られたら、財が得  
られたら、名誉が得られたら、地  
位が得られたら、健康が得られ  
たら、よい妻子に恵まれたら、  
「満足できる、幸福になれる」と  
古今東西の人類の大迷信にかかっ  
ている。

四十八歳を迎えたら、「闇に  
泣いた人だけに光に遇った笑い  
があり、沈んでいた人だけに浮  
いた時の歓喜がある」という希  
望を抱き、「風船は膨らませ過ぎ  
ると割れるだけ」あまり欲は  
持たず、一つ一つ自分のできる

ことから着実に対応して行こう。  
とりあえず・・・

一、「にこやかな笑顔と明るい  
挨拶」で家庭や職場を楽し  
くしよう。

二、一万円をくずしてと頼まれ  
たら、千円札八枚と五百円  
玉二枚と百円五十枚を準備  
できるように「気の利く人」  
になろう。

三、「年間4800キロ」を目  
指そう。

四十八歳の「たむ」ことでした。

## 第三四二施設中隊

陸士長 古川 雄大



年男を  
迎えるに  
あたり平  
成十七年  
は、以前  
からの目

標を実現させる年にしよと思  
います。それは陸曹候補生試験  
に合格し三等陸曹に昇任する事  
です。自衛隊生活も三任期目に  
突入し、妻子もある身なので陸  
曹になることで部隊に貢献する  
とともに、家族を是非安心させ  
てやりたいという思いでいつば  
いです。

中隊の諸先輩・後輩の皆さん

の力強い協力と励ましを戴いて、  
陸曹候補生試験合格を目ざして  
頑張っているところであります。  
今年はい前にも増して陸曹に  
なるという自覚を強く意識して、  
失敗を恐れずに積極的に何事に  
も取り組んで行こうと思ひます。  
まだまだ未熟ではありますが、  
精一杯努力し悔いのない自衛隊  
生活が送れる年になるようベス  
トを尽くす所存です。よろしく  
お願いします。

## 『年男の抱負』

### 第三三七施設中隊

陸士長 佐藤 光治



新年あけ  
ましておめ  
でとうござ  
います。年  
男の抱負は  
『今年こそは  
絶対に陸曹  
候補生に合格するぞ!』です。  
今まで何度も受けたのですが、  
あと一歩足りずに不合格になっ  
ているので、今年はいしつかり計  
画を立てて合格をつかみ取るう  
と思ひています。また今年から  
先任士長という新たな任務も付  
加されます。先任陸士長として  
後輩の指導及び陸曹を目指す身  
として公私にわたり後輩の目標  
となれるような立派な鶴冠にな  
れる様努力していく所存です。

## 駐屯地テニスコート落成式

駐屯地テニスコートの補修工  
事が終わり、整備され綺麗になっ  
たテニスコートで、駐屯地司令、  
業務隊長、幕僚の方々が参加し、  
始球式を行った。



始球式(駐屯地司令)

雪も降り積もり、今年度の使  
用はできないが、春、雪解けと  
とともに、新しいテニスコート  
で汗を流してみませんか。皆様  
の利用をお待ちしています。



気持ちよさそうな業務隊長

## 永年の勤務

こ苦勞様でした

### 【第三三七施設中隊】

陸曹長

小石川 和治

(平成十七年  
一月五日付)

就職先 セーフティ仮設機材



明治安田生命 村山 利江

明治安田生命 岩見沢営業所  
〒068-0024 岩見沢市4条西1  
電話：0126-22-1637  
FAX：0126-22-7340

お客様の「いつも身近にいる会社」  
をモットーに、  
私たちはこれからも、  
安心をお届けしてまいります。

担当営業職員

# 人事往来

## 昇任 一月一日付

### 【第十二施設群】

陸曹長へ

本部管理中隊

一等陸曹 須藤 辰雄

一等陸曹 中村 信之

第三一二施設器材中隊

一等陸曹 折笠 一可

第三〇二坑道中隊

一等陸曹 泉 勉

一等陸曹へ

本部管理中隊

二等陸曹 工藤 義浩

二等陸曹 梅崎 光男

第三三五施設中隊

二等陸曹 千葉 孝幸

第三一二施設器材中隊

二等陸曹 鹿子木 一徳

二等陸曹 竹下 明宏

二等陸曹へ

本部管理中隊

二等陸曹 遠目塚 進

二等陸曹 増田 ひろみ

第三三六施設中隊

三等陸曹 菅原 寿男

第三三七施設中隊

三等陸曹 沼田 富士男

第三一二施設器材中隊

二等陸曹 近迫 真人

第三〇二坑道中隊

三等陸曹へ

本部管理中隊

陸士長 山岸 麻衣子

第三三五施設中隊

陸士長 萩生田 和幸

陸士長 永井 崇浩

第三三六施設中隊

陸士長 酒谷 裕樹

陸士長 水島 直樹

第三三七施設中隊

陸士長 團塚 貴郎

陸士長 井上 拓也

第三四二施設中隊

陸士長 加藤 和幸

陸士長 佐藤 善基

【第二直接支援中隊】

陸曹長へ

一等陸曹 中川 由

一等陸曹へ

二等陸曹 塚田 安夫

二等陸曹へ

三等陸曹 鳴海 治

三等陸曹 大滝 征人

三等陸曹へ

陸士長 佐藤 健太

【第三二七会計隊】

准陸尉へ

陸曹長 宮本 元

三等陸曹へ

陸士長 丹生 光則

【業務隊】

准陸尉へ

陸曹長 山崎 俊美

陸曹長へ

一等陸曹 工藤 茂年

## はばたけ！新成人紹介



### 【第三三五施設中隊】

陸士長 村上 一

昭和六十年 一月 一日

陸士長 米山内 太郎

昭和五十九年 八月 七日

### 【第三三六施設中隊】

陸士長 鈴木 大樹

昭和五十九年 五月 七日

陸士長 今平 明宏

昭和五十九年 五月 五日

陸士長 佐藤 真一

昭和五十九年 四月 九日

陸士長 澁江 雅也

昭和六十年 三月 九日

陸士長 南條 竜二

昭和五十九年 九月 七日

### 【第三三七施設中隊】

陸士長 天崎 大輔

昭和六十年 二月 十日

陸士長 大畑 大輔

昭和五十九年十月二十七日

### 【第三一二施設器材中隊】

陸士長 松尾 暢靖

昭和五十九年四月二十七日

### 【第三〇二坑道中隊】

陸士長 加藤 剛

昭和五十九年十月二十七日

### 【第三二七会計隊】

陸士長 橋村 泰夫

昭和五十九年 七月十六日

### 【第二直接支援中隊】

陸士長 澤田 真也

昭和六十年 一月 二日

### 【業務隊 厚生科】

主事 菅原 沙弓

昭和五十九年 九月 八日

## こんにちはわ赤ちゃん



本部管理中隊

三曹 森 政仁

長女 咲花ちゃん

十一月二十六日

第三三五施設中隊

三曹 細野 貴志

長女 さよりちゃん

十月二十二日

第三三五施設中隊

士長 倉嶋 広大

長女 紗織ちゃん

十一月二十九日

第三三六施設中隊

士長 伊藤 秀春

長女 有紗ちゃん

十一月二十日

防衛庁警備団 団体傷害保険

防衛庁警備団 がん保険

電話 (0126) 22-1001

内線 338 池田 哲夫

お問合せ 内線 338 池田 哲夫